

西洋絵画における親密なる男女の表象

尾崎 恵子

(京都大学大学院文学研究科博士後期課程)

倉持 充希

(京都大学大学院文学研究科博士後期課程)

中田 明日佳

(国立西洋美術館研究員)

西嶋 亜美

(京都大学大学院文学研究科博士後期課程)

2012年3月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

当ユニットでは、婚礼場面や夫婦像、恋人の姿を描いた西洋絵画に着目し、そこに投影された各々の地域、時代の結婚観や恋愛観を考察した。まず結婚に関しては、16世紀ネーデルラントの農民の婚礼図の考察に基づき、当時、婚姻がもたらす子孫誕生や共同体の繁栄という意義が重視されていたこと、同じく16世紀末から17世紀初頭スペインの聖家族像の分析を通して、カトリックの理想と庶民の実生活の間に大きな隔たりがあったことを論じた。また、恋愛に関しては、17世紀ローマで制作された神話画の中の恋人および19世紀パリで描かれた現実の恋人の表現に注目した。そして、実世界では秩序を破壊し当事者を不幸にしかねない恋愛であるが、虚構の恋愛譚に登場する恋人たちを表した絵画作品においては、人物の情動の視覚化が探求され、近代に現れ始めた現実の恋人表象には、虚構的な価値観が強く反映される一方、新たな表現も模索されていることを明らかにした。

キーワード：西洋美術、婚礼図、聖家族像、神話画、恋愛の表象

2010年度次世代研究「西洋絵画における親密なる男女の表象」（研究代表：中田明日佳）による成果である。

【メンバー】（ ）内は2010年度プロジェクト時点

尾崎 恵子（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）

倉持 充希（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）

中田明日佳（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）

西嶋 亜美（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）